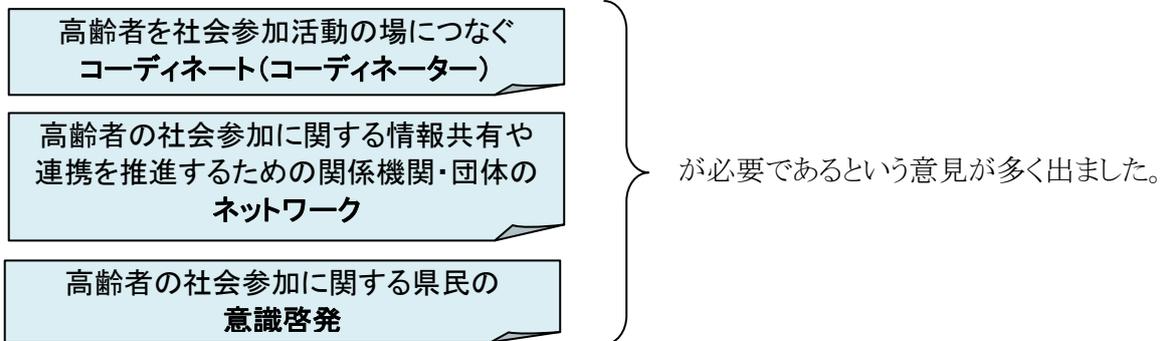


# 平成 25 年度第 4 回人生二毛作推進県民会議 意見交換について

長野県健康長寿課

## 1 第2回県民会議の意見交換の結果について

第2回県民会議の意見をまとめると、高齢者の「就業」、「創業」、「社会活動」の推進のためには、共通して、



## 2 第3回県民会議について

上記1を踏まえ、第3回県民会議は、高齢者の社会参加を推進するための「コーディネート(コーディネーター)」に焦点を絞り、次の①②③をテーマで意見交換を行いました。(意見概要は資料1参照)

- ① 「コーディネーター」はどんな役割を担うか？
- ② 「コーディネーター」をうまく機能させるには、どうしたらよいか？
- ③ 各機関、団体は「コーディネーター」とどんな連携、協力をするか？

## 3 第3回県民会議の意見交換の結果について～コーディネーターのあり方～

### ① 「コーディネーター」はどんな役割を担うか？

#### つなぐ

- ・高齢者を希望する活動の場へつなぐ。
- ・高齢者に係る事業を実施している機関、団体同士をつなぐ。
- ・関係機関、団体及び地域のコーディネーター同士をつなぐ。

#### 情報収集

- ・社会参加したい高齢者(人材)の情報収集
- ・高齢者を求めている活動の場の情報収集
- ・企業が求めている人材の情報収集
- ・高齢者の就業、創業、社会活動に係る情報の収集と発信

(前ページつづき)

#### 潜在的なニーズの明確化

- ・高齢者のニーズがあつて、高齢者が活躍できるもの(場)を明らかにする。

#### 活動の場づくり

- ・起業、創業、社会活動を考える高齢者が集まる場をつくる。

#### 能力の発掘

- ・高齢者の能力を発掘する。
- ・高齢者の特性をつかむ。
- ・高齢者の一番よい社会参加の形を創り出す。

## ② 「コーディネーター」をうまく機能させるには、どうしたらよいか？

#### 十分な資質を持ったコーディネーターの確保

- ・多くの選択肢を提案ができる。
  - ・地域で顔が知られている。
  - ・相手の身になって受け止める力(傾聴力)がある。
  - ・コーディネーターを取りまとめる中核的なコーディネーターが必要
  - ・高齢者の社会参加の推進に関する専門的な知識、技術を持っており、他のコーディネーターに伝授する。
- ※これらの資質を有することができるように研修会を実施する。

#### 適切な場所への配置

- ・気楽に集える場所に配置
- ・生活圏域(身近な場所)に配置
- ・市町村の枠を超えて配置

#### ネットワーク

- ・高齢者の社会参加に関係する機関、団体に構成する地域会議を設置し、コーディネーターとともに地域の連携を図る。
- ・地域会議の事務局を担う機関、団体が必要
- ・地域情報や様々な分野の情報が一元的に集まる仕組みが必要
- ・県レベルで関係機関、団体に連絡協議会をつくり、情報交換し、県全体の取組を推進する。
- ・各地のコーディネーターが一堂に集まる機会を持ち、取組を均一にする。

### ③ 各機関、団体は「コーディネーター」とどんな連携、協力をするか？

#### コーディネーター養成への協力

- ・各機関、団体が実施しているコーディネーターの育成に参加してもらう。(カウンセリング方法の取得、シニアボランティア養成研修会共同開催など)

#### 積極的な情報提供

- ・各機関、団体が行っている高齢者の社会参加の推進に関する取組を積極的に提供(雇用・就職相談、福祉分野の相談、サロンの実施など)
- ・コーディネーターが取りまとめた情報を各支所に提供
- ・各機関、団体が認識している高齢者の課題を提供
- ・高齢者が活動できる場の情報提供
- ・個々の高齢者の特技、希望、ニーズを積極的に伝える。

#### ネットワークづくりへの積極的な参加

- ・各機関、団体は、コーディネーターのネットワークづくりに積極的に参加する。
- ・情報交換を行い、現状や課題を把握し、各機関、団体の事業に活かす。

## 4 高齢者の社会参加を推進するためのコーディネーターの配置について

上記3の意見まとめを踏まえ、コーディネーターの配置について協議を行います。

### 協議内容

コーディネーターは、どの機関、団体に配置したらよいか？

## 5 高齢者の社会参加を推進するためのネットワークについて

上記1を踏まえ、第4回県民会議は、高齢者の社会参加を推進するための「ネットワーク」に焦点を絞り、次の①②③をテーマで意見交換を行います。

① 「ネットワーク」のあり方とは？

② 「ネットワーク」の構成機関・団体、事務局はどこか？

③ 「ネットワーク」をうまく機能させるための工夫、ポイントは何か？

## 6 今後の予定

次回 平成26年5月下旬開催予定

検討内容

- ・コーディネーターの実際の活動について
- ・具体的なネットワークづくりについて